

やんばらあ〜わって 2014年7月 第28号

学校での生活障害体験学習事業

おきなわ つゆい がつじょうじゅん
沖縄は梅雨入りが5月上旬で6

がつげじゅん あ ひざ つよまなつ
月下旬には明け、日射しが強く真夏の

あつ ひ つづ うみ い およ
暑い日が続いて、海にでも行って泳ぎた

きぶん みなさま す
気分ですが、皆様はどうお過ごしでしょ

うか？



ほんだい こんねんど ふくしかんけいきかん れんけい ふくしきょういくけいはつ
さて、本題ですが今年度も福祉関係機関と連携しながら、福祉教育啓発の

せっきよくてき すいしんじぎょう いっかん せいかつしょうがいたいけんがくしゅう いち
積極的な推進事業の一環として「生活障害体験学習」を位置づけ、

なごし もとぶまち なきじんむら しょう ちゅう だか だいがく せいと たいしょう しょうがい も
名護市・本部町・今帰仁村の小・中・高・大学の生徒を対象に、障害を持

わたし くるまいすおよ たいけんがくしゅう いま しゃかい きょういく
つ私から、車椅子及び、アイマスクなどの体験学習や、今ある社会の教育の

げんじょう われわれ じりつせいかつ うえ かいぜんてん こうわ なか
現状と我々が自立生活していく上での改善点があるべきかを講話の中で

はなし
話をさせていただきます。

ほんねんど こう おこな けいかく しょうがいとうじしゃ しゃかい なか せいかつ
本年度は12校で行う計画をしています。障害当事者が社会の中で生活

なか きょういく ぶんや ほんにん のぞ ちいき せいかつ
していく中で、教育の分野から本人が望む地域で生活していけるようにと、

しょうがい りかい ふか こと きたい かつどう
障 害 の理解を 深 めてもらえるきっかけになる事を期待し活 動していきます。

くるまいす こうない いま だんさ さかみち ふべん はいりよ
それと、車椅子とアイマスクで校 内をまわり、今 ある段差や坂 道の不便さや、配 慮の

ひつようせい じっかん しょうがい ひと たちば
必 要性を実 感し、障 害がある人の立 場にたってもらえるようなきっかけになれたらなと

かんが
考 えています。

きょうせいしゃかい いま じゅうぶん しゃかいさんか かんきょう な
「共 生社会」とは、今まで十 分に社会参加できるような環 境に無かった

しょうがいしゃとう せっきよくてき さんか こと しゃかい おも
障 害者等が、積 極的に参加していく事ができる社会であると思 います。それは、

だれ そうご じんかく こせい そんちょう ささ あ ひとびと たよう あ かた そうご みと
誰 もが相互に人 格と個性を尊 重し支え合い、人 々の多様な在り方を相互に認

あ ぜんいんさんかがた しゃかい しゃかい めざ じゅうよう
め合える全 員参加型の社会であり、このような社会を目標することが重 要です。

にんげん たようせい そんちょうとう きょうか じゅう しゃかい こうかてき さんか
人 間の多様性の尊 重等の強 化で、自由な社会に効果的に参加することを

かのう こと しょうがい もの しょうがい もの とも まな しく しょうがい
可能とする事、障 害のある者と障 害のない者が共に学 ぶ仕組みであり、障 害

もの はいじよ こと じこ せいかつ ちいき きょういく きかい あた
のある者が排 除されない事と、自己の生 活する地域において教 育の機会が与えら

こと こじん ひつよう ごうりてきはいいよ ていきょう ことどう ひつよう しょうがい
れる事、個人に必 要な「合理的配 慮」が提 供される事等が必 要です。障 害

しゃ けんり かん じょうやく ごうりてきはいいよ ひてい しょうがい りゆう
者の権利に關 する条 約において、「合理的配 慮」の否定は、障 害を理由とする

さべつ ふく
差別に含 まれているとされています。

しょうがい こども とき ちいきしゃかい なか いちいん ふつう い
また、障 害のある子供の時 刻から、地域社会の中 での一 員として普通に生きていける

ちいき どうせだい こども ひとびと こうりゅうとう とお ちいき せいかつきばん
ような、地域の同世代の子供や人々の交流等を通して、地域での生活基盤を

けいせい こと かのう かぎ しょうがい こども しょうがい こ おな じょう
形成する事と、可能な限り障害のある子供と障害のない子どもが同じ場で

びょうどう とも まな はいりよ こと じゅうよう ふ
平等に共に学ぶことができるよう配慮する事が重要なのです。すぐそばにいて、触れ

あ こと でき しぜん たが わ あ りかい なに よ みちすじ
合う事が出来ていれば自然に互いに分かり合い、理解し何をどうすれば良いのか道筋を

かんが よう きょうせいしゃかい じつげん けいはつかつどう
考えていくのです。このような「共生社会の実現」の啓発活動をしていきます。

おきなわけんじょうれいだい ごう かき とお きさい
« 沖縄県条例第64号は、下記の通り記載されています。 »

おきなわけんしょうがい ひと ひと とも く しゃかい じょうれい
沖縄県障害のある人もない人も共に暮らしやすい社会づくり条例における

きかい ふよ だい じょうこうちょう きょういん た きょういくかんけいしよくいん しょうがい
機会の付与) 第12条 校長、教員その他の教育関係職員は、障害

ひと きょういく おこな ばあい しょうがい ひと たい しょうがい
のある人に教育を行う場合において、障害のある人に対して、その障害の

じょうたい もの きょういくじょうひつよう しえん ないよう ちいき きょういく たいせい
状態、その者の教育上必要な支援の内容、地域における教育の体制

せいび じょうきょうとう おう ほんにん ひつよう みと てきせつ しどうおよ しえん う
整備の状況等に応じ、本人に必要なと認められる適切な指導及び支援を受

きかい あた
ける機会を与えなければならない。

JIL総会・全国セミナーに参加して

5月27日から29日の3日間(にち)にわたり、マイドーム大阪(おおさか)にてJIL総会・全国セミナ

ー(かいさい)が開催(さんか)されましたので参加しました。

だいちにちめ さいしょ ひがしとしひろ しょうがいしゃけんりじょうやく
第一日目、最初のプログラムは、東 俊 裕さんによる障 害 者 権 利 条 約

ひじゅんご しょうがいしゃうんどう はなし けんりじょうやくひじゅん む
批 准 後 の 障 害 者 運 動 に つ い て の お 話 で し た 。 権 利 条 約 批 准 に 向 け て

じっさい くに そしき はい こくないほう せいび とく ひがし はなし
実 際 に 国 の 組 織 の な か に 入 っ て 国 内 法 の 整 備 に 取 り 組 ん で き た 東 さ ん の お 話

もんだい ふか かいじょうない さんかしゃぜんいん せっきよくてき
は、この問 題 に 深 く か か わ っ て い る 会 場 内 の 参 加 者 全 員 に と っ て 、 積 極 的 に

かつどう かくご と きび ないよう はなし
活 動 す る 覚 悟 を 問 う 厳 し い 内 容 の お 話 で し た 。

つづ ゆめちゆう おおはし いりよう ひつよう じゅうど
続 い て 、 夢 宙 セ ン タ ー の 大 橋 グ レ ー ス さ ん ら に よ る 医 療 ケ ア の 必 要 な 重 度

しょうがいしゃ かいじょしゃ つか ちいき く さまざま くふう はなし
障 害 者 が 介 助 者 を 使 っ て 地 域 で 暮 ら し て い く た め の 様 々 な 工 夫 に つ い て の お 話

き りそう ちいきせいかつ じつげんほんにん かいじょしゃ はな
を 聴 き ま し た 。 理 想 と す る 地 域 生 活 を 実 現 さ せ る た め 、 本 人 と 介 助 者 が よ く 話 し

あ たす あ たいせい かんしん むずか
合 い 、 チ ー ム で 助 け 合 う 体 制 が と て も よ く で き あ が っ て い て 感 心 し て ま い ま し た 。 こ の 難

きょうりよく あ つづ おも
し い こ と を よ く み ん な で 協 力 し 合 っ て 続 け て い る な と 思 い ま し た 。

いちにちめさいご だい こうりゅうかい じりつ
一 日 目 最 後 の プ ロ グ ラ ム は 「 お も て な し ア メ リ カ ン 」 と 題 し た 交 流 会 で し た 。 自 立

せいかつ ちち しゅつしんち しょくじ かいじょうない
生 活 の 父 エ ド ・ ロ バ ー ツ の 出 身 地 カ リ フ オ ル ニ ア に ち な ん で 、 食 事 や 会 場 内 の

そうしよく ふんいき えんしゅつ たの こうりゅうかい おおさか
装 飾 な ど 、 ア メ リ カ ン な 雰 囲 気 を 演 出 し て い て と て も 楽 し い 交 流 会 で し た 。 大 阪

かく きょうりよく あ さまざま たの じゅんび
の 各 セ ン タ ー が 協 力 し 合 っ て 様 々 な レ ク リ エ ー シ ョ ン を 楽 し む ブ ー ス が 準 備 さ れ て い て 、

しぜん た ひと こうりゅう くふう
自 然 に 他 の セ ン タ ー の 人 た ち と 交 流 で き る よ う に 工 夫 し て あ り ま し た 。

だいににちめ ごぜんちゆう ちいきせいかつ ひつようせい
第 二 日 目 の 午 前 中 は 地 域 生 活 に お け る エ ン パ ワ ー メ ン ト の 必 要 性 に つ い て の プ

プログラムでした。講師の方々が演じるロールプレイを見たあと、4、5人のグループにわかれて

感想や意見をいいました。他のセンターでがんばっているスタッフのみなさんの話をじっくり聴

く機会はたまにしかありませんので、とても貴重な時間になりましたし、日々の仕事の役に立

つ意見も聴くことができました。

午後からは尊厳死法制化の問題点についてのパネルディスカッションでした。優生

思想につながることや、命について、あるいは生きることについて、私たち一般市民がも

っと深く考えることの必要性を感じました。また、尊厳死の是非と尊厳死法案

の是非は別の論点だというお話はとても新鮮でした。

続いて、千葉県の施設で障害当事者が虐待され死亡した事件についてピーブ

ルファーストの佐々木さんから報告を受けました。法律が変わったり、条例ができて、まだ

このような事件が起こることについて、初日に東さんからお話があったように、われわれ

CILの日々の仕事に対する姿勢が問われる問題だと感じました。

最終日は新人向け研修に参加しました。講師の藤田さんからCILと運動の

歴史やその理念についてお話をうかがい、あらためて自分の仕事で一番大切な基本

の考えを見つめ直すことができました。

けんしゅうさいご せいど れきし はなし き
研 修 最後のプログラムはヘルパー制度の歴史についての 話 を聴きました。まだヘルパー
せいど じだい かた がくせい かた いっしょ すこ
制度のない時代に、CPの方たちと学 生 ボランティアの方たちが一 緒になって、少しずつ
かたちをつくり上げていったお 話 を聴いて、ひとりの 人 間 同士として関 係 を 深 めていける
しごと おし き どうじ
この仕事のおもしろさをあらためて 教 えてもらったような気がしました。また、当時のみなさんは、た
びんぼう たの げんき
とえ 貧 乏 でも、たとえけんかしても、たくましく、 楽 しくやっていて、なんだか元 氣 が でした。

第25回九州身体障害者水泳選手権大会in沖縄

さ がつ にち おうのやまこうえん
去った6月15日に奥武山公園
すいえい しんたいしょうがいしゃ
水 泳 プールにて、身 体 障 害 者
すいえいたいかい かいさい
水 泳 大会が開催され、10：30か
きょうぎ かいし
ら競 技 が開始されました。



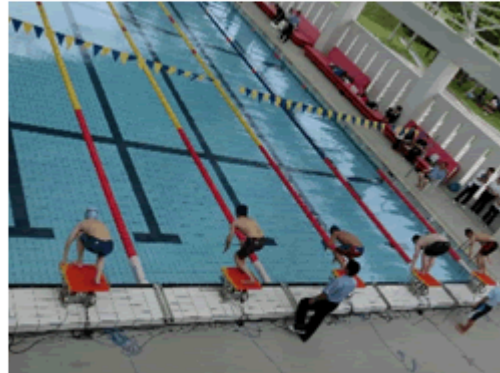
きゅうしゅうしんたいしょうがいしゃすいえいれんめい しゅさい しんたい ちてき
これは、九 州 身 体 障 害 者 水 泳 連 盟 が主 催 で、身 体、知 的、
せいしんしょうがいしゃ しょうがくせいじょう とうろくしゃ しゅう かいじょうていきてき
精 神 障 害 者 の小 学 生 以 上 の登 録 者 で、週 1回 以 上 定 期 的 に
れんしゅう もの きょうぎ さんか
練 習 して いる 者 が競 技 に参 加 できるシス テ ム です。

なか しゅもく じゅうがた ひらおよ
その中で、種目は自由形、平泳

せおよ
ぎ、背泳ぎ、バタフライがあり、25メートル、
50メートル、100メートルがありました。

きょうぎ さんか かたがた て
この競技に参加されていた方々は、手

あし しょうがいしゃ おも
や足の障害者が主でした。



きょうぎ いっぱん たち おこな きょうぎ か おも
競技は一般のアスリート達が行う競技となら変わらないと思いましたが、

しょうがい おも ひと およ すがた み おそ ひとほどおうえん つよ きも
障害の重い人が泳いでいる姿を見て、遅い人程応援したいという強い気持ち

になりました。アスリートというのは、はや ひとほど おも およ
速い人程カッコイイと思うのですが、泳ぎもままならない

じゅうど ひと いっしょうけんめいおよ み ひと およ
ぐらいの重度の人が一生懸命泳いでいるのを見て、この人がゴールまで泳ぎつこうと

すがた かんどう じしん はげ ゆうき つな よ おも
する姿に感動させられ、自身の励みと勇気に繋がられ良かったと思います。

おきなわ せんしゅ にゅうしょうでき
沖縄の選手は入賞出来なかつ

たのですが、せんしゅ がんば
たのですが、選手やサポーターの頑張っ

すがた み かんどう じっかん
いる姿を見て感動を実感できたの

おうえん い よ
で、応援しに行っ良かったです。



じかい たいかい あら ちから おも かげ おうえん
また次回の大いまでには新たに力をつけていけると思っていますので陰ながら応援し

たいなと思いました。